

エコアクション21 環境経営レポート



熊本県公共関与産業廃棄物管理型最終処分場「エコアくもと」

第3版 令和4年6月発行

(取組期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日)

公益財団法人熊本県環境整備事業団

目次

1 法人の概要	1
1. 1 組織の概要	1
1. 2 対象事業の概要	2
1. 3 対象事業所の施設の概要	2
2 エコアクション 2.1 組織図	11
3 環境経営方針	12
4 環境経営目標	13
5 取組期間の環境経営目標の実績及び評価	14
6 環境経営計画	16
7 取組期間の環境経営計画に対する取組結果	17
8 今後の環境経営計画への取組	18
9 環境関連法規への違反・訴訟などの有無	18
10 代表者による全体評価と見直し	19
11 その他の活動	20

1 法人の概要

1. 1 組織の概要

(1) 事業者名及び代表者名

公益財団法人熊本県環境整備事業団 理事長 田嶋 徹

(2) 設立日

平成19年(2007年)12月13日

(3) 基本財産

600万円

(4) 所在地及び連絡先

熊本県玉名郡南関町大字下坂下字棒目木4771番地3

TEL 0968-53-8500 FAX 0968-53-8510

e-mail info@kksj.jp

ホームページ <http://www.kksj.jp>

(5) 設立目的

産業廃棄物の適正な処理その他廃棄物に関する各種事業を行うことにより、本県の優れた自然環境の保全及び県民の生活環境の保全並びに産業の健全な発展に寄与することを目的とする。

(6) 事業内容

①産業廃棄物の処理に関する事業

②一般廃棄物(災害その他やむを得ない事情によるものに限る。)の処理に関する事業

③廃棄物の排出抑制、再使用及び再生利用並びに適正処理に関する啓発・調査研究事業

④その他この法人の目的を達成するために必要な事業

(7) 環境管理責任者・担当者及び連絡先

環境管理責任者 事務局次長 江口 雅彦(～令和4年3月31日)

岩崎 真幸(令和4年4月1日～)

担当者 事務局管理課 参事 宮本 俊

連絡先 TEL 0968-53-8500

(8) 環境経営レポート対象期間及び発行日

対象期間 令和3年(2021年)4月1日～令和4年(2022年)3月31日

発行日 令和4年(2022年)6月29日

(9) 事業規模

内容	単位	R1(2019)年度	R2(2020)年度	R3(2021)年度
年商	千円	137,740	677,566	874,175
廃棄物受入量	t	5,006.88	19,933.74	48,168.59

1. 2 対象事業の概要

(1) 事業内容

産業廃棄物処分業（管理型最終処分場）

廃棄物の排出抑制、再生利用等に関する啓発事業

(2) 産業廃棄物処分業許可内容

【産業廃棄物処分業】

熊本県 許可番号 第04331186917号

許可の年月日 令和3年（2021年）2月16日

許可の有効期限 令和9年（2027年）12月24日

・事業の区分 最終処分業

・処理方式 管理型埋立

・取り扱う産業廃棄物の種類

燃え殻、汚泥、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動物又は植物に係る固形状不要物（動植物性残さ）、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、鋳さい、コンクリート破片その他これに類する不要物（がれき類）、ばいじん、政令第2条第13号に規定する廃棄物（13号廃棄物）（これらのうち石綿含有産業廃棄物及び自動車等破砕物であるものを含む）

【特別管理産業廃棄物処分業】

熊本県 許可番号 第04381186917号

許可の年月日 令和3年（2021年）2月16日

許可の有効期限 令和9年（2027年）12月24日

・事業の区分 最終処分業

・処理方式 管理型埋立

・取り扱う産業廃棄物の種類 廃石綿等

1. 3 対象事業所の施設の概要

(1) 施設の種類

管理型最終処分場

- (2) 施設の名称
熊本県公共関与産業廃棄物管理型最終処分場
(愛称：エコアくまもと)
- (3) 所在地
熊本県玉名郡南関町大字下坂下字棒目木4771番地3
- (4) 設置年月日
平成27年(2015年)11月25日
- (5) 処理能力
埋立地面積 31,121 平方メートル
埋立容量 423,395 立方メートル
浸出水処理施設 60 立方メートル/日
残余容量 213,804.42 立方メートル
(令和4年(2022年)3月31日現在)
- (6) 保有車両等
社用車(ハイブリッド車) 1台
バックホウ 1台 (維持管理業務委託業者管理・リース車)
ブルドーザー 1台 (維持管理業務委託業者管理・リース車)
4トンダンプ車 1台 (維持管理業務委託業者管理・リース車)
- (7) その他保有設備
太陽光発電30キロワット 1式(水処理棟屋上)
太陽光発電2002キロワット 1式※(覆蓋施設屋上)
※熊本いいくに県民発電所株式会社所有。同社が管理、運営。



(8) 施設の配置

施設の配置は下図のとおり。



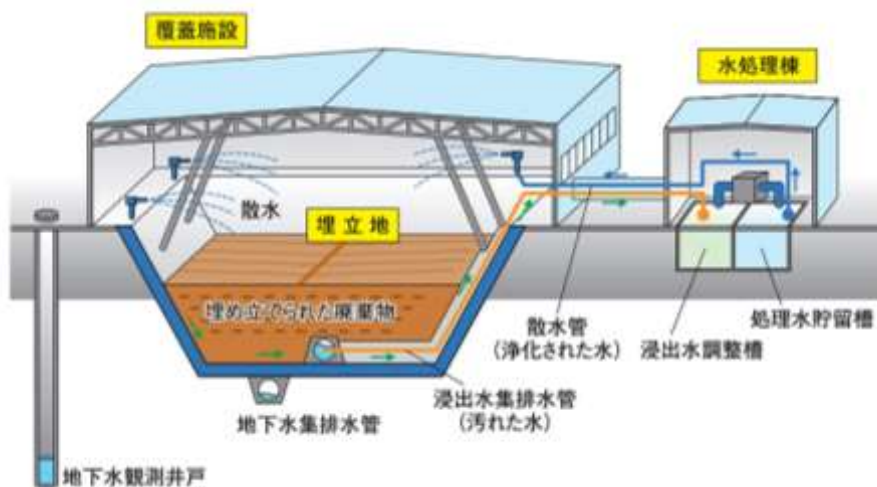
埋立地の地下水上流に3本、下流に3本の計6本のモニタリング井戸を設置し、地下水中のpHと電気伝導度を常時監視しています。
※図の左側から右側へ地下水は流れています。

(9) 施設構造

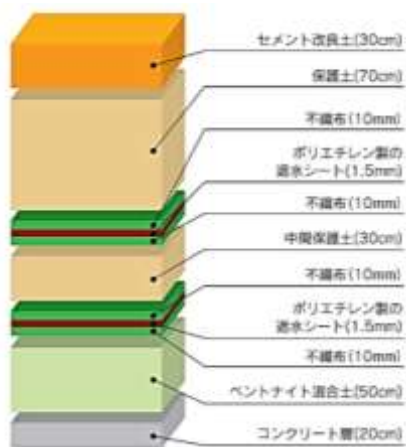
当施設は、覆蓋（屋根や壁で覆っている）施設（クローズド型）のため、埋立地内で発生するホコリや臭い、騒音を封じることができ、周囲の環境に影響を与えません。さらに、埋立地へ雨水の流入を防ぐことができるため、余分な水処理を行う必要がありません。

また、散水により埋立地内で発生した水（浸出水）は、水処理施設で処理し、きれいな水にした後、散水に再び使用し、河川等への放流はない（無放流型）ことから、無放流型と言います。

【クローズド・無放流型イメージ】



(10) 遮水構造



(底面部)

底面部は、法令の基準（二重遮水構造）を上回る遮水構造により浸出水が埋立地から外部に漏水することを防止しています。

また、遮水工の中に漏水検知システムを二重に備えており、仮に漏水があったとしても、1mの範囲内で速やかに漏水か所を検知できます。

法面部は、二重の遮水構造を備えており、加えて、水と接触すると吸水膨張することにより、遮水する自己修復材を備えています。

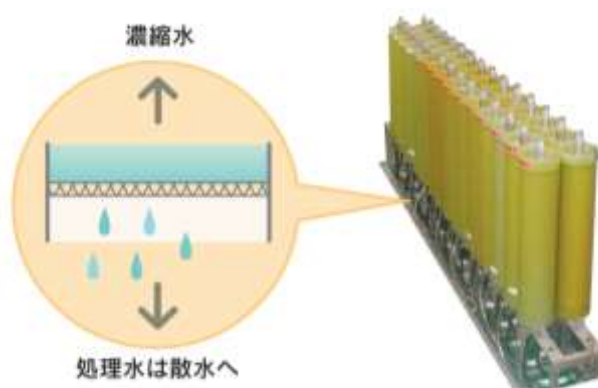
(11) 水処理施設



当施設の水処理施設は、逆浸透膜（RO膜：1～2ナノメートルの小さな孔があいている膜）を用いた施設です。

浸出水に高い圧力をかけて、直接ろ過することできれいな水になります。ろ過されたきれいな水は、散水に再利用します。

また、ろ過により残った汚れた水は、濃縮した後、産業廃棄物として処理を外部に委託しています。



(12) 覆蓋施設の状況

<埋立前（平成28年(2016年)3月）>

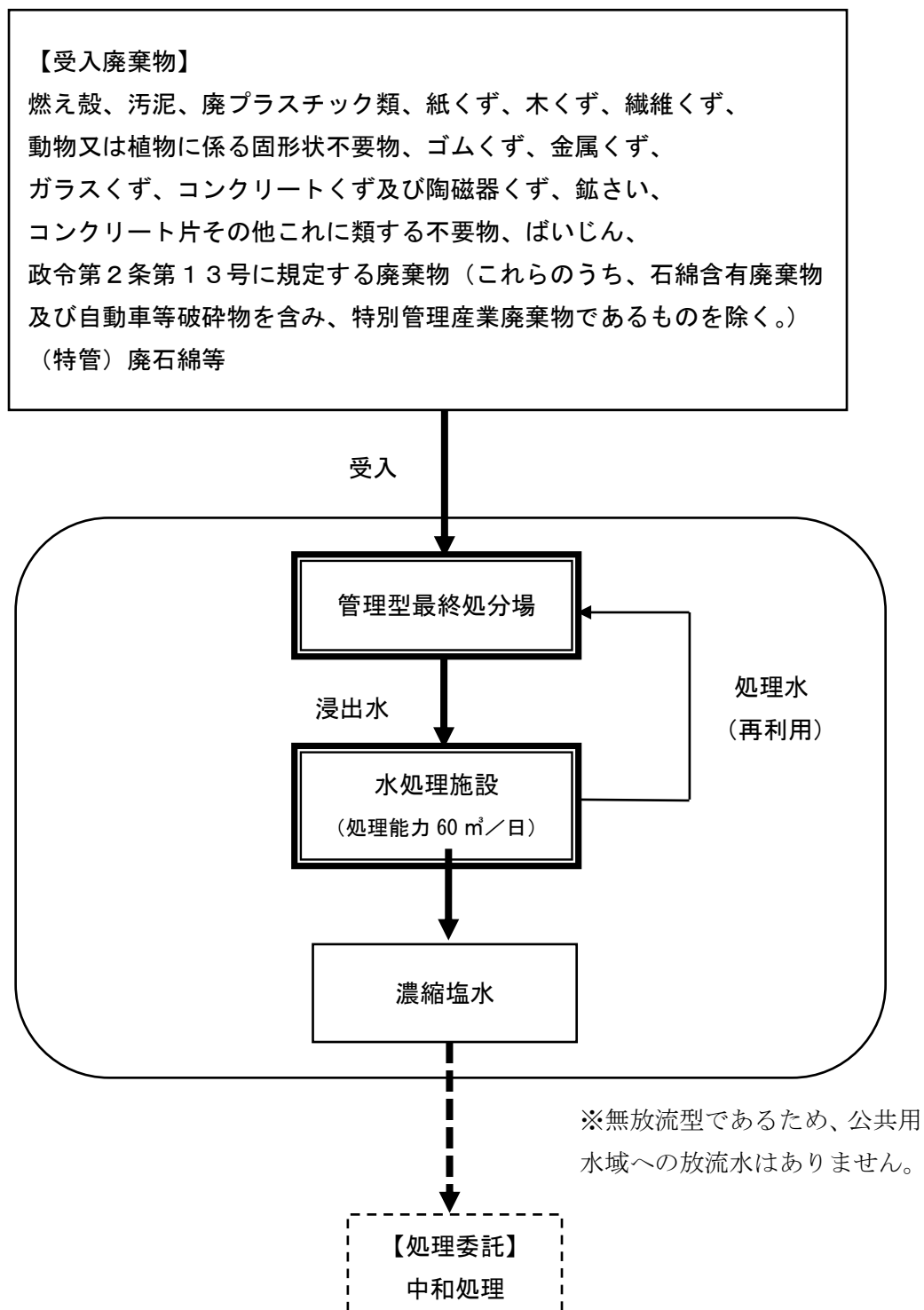


<令和4年(2022年)3月31日現在>



(13) 処理工程

最終処分場「エコアくまもと」の処理工程は下図に示すとおりです。



(14) 処分実績 (累計)

埋立開始からの埋立処分量及び廃棄物の構成比を下表に示します。

【単位：t】

種別	品目	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	総計	
		年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度		比率(%)
産業廃棄物	燃え殻		10.95	906.75	82.57	61.12	270.60	1,969.21	3,301.20	1.26
	汚泥(無機性)		105.75	15.70	208.32	481.93	1,656.82	629.66	3,098.18	1.18
	汚泥(有機性)		155.77	29.32	3.39	46.04	426.62	72.16	733.30	0.28
	廃プラスチック類		34.45	424.93	691.33	717.61	381.45	427.81	2,677.58	1.02
	シュレッダーダスト		49.98	657.52	163.08	470.91	820.85	511.06	2,673.40	1.02
	紙くず					78.96	20.37		99.33	0.04
	木くず		0.58	2.17		132.32	17.73	59.62	212.42	0.08
	動植物性残さ			110.64	185.21	179.68	17.28	14.43	507.24	0.19
	ゴムくず		0.08						0.08	
	金属くず			1.61		0.05			1.66	
	ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず	16.22	1,212.27	1,629.80	977.63	955.44	1,118.16	1,175.08	7,084.60	2.71
	廃石膏ボード	18.22	35.30	90.23	202.42	169.40	231.67	295.85	1,043.09	0.40
	石綿含有廃棄物 (非飛散性アスベスト)		9.45	198.79	201.25	160.58	153.08	751.60	1,474.75	0.56
	鉱さい			2.54	65.76	93.01	5.91	89.13	256.35	0.10
	がれき類		333.94	4,485.07	169.48	1,458.91	2,994.60	1,427.95	10,869.95	4.16
	ばいじん					0.92	1.05	2.97	4.94	
	廃石綿等				10.84		0.01	0.78	11.63	
	政令13号廃棄物		45.40	15.35	20.20				80.95	0.03
	合計	34.44	1,993.92	8,570.42	2,981.48	5,006.88	8,116.20	7,427.31	34,130.65	13.05
災害廃棄物	ガラス陶磁器・がれき類		28,375.70	2,703.47	0.81		1,986.39	892.86	33,959.23	12.99
	混合廃棄物		28,058.59	74,435.01	1.28		4,615.66	33,331.77	140,442.31	53.71
	スレート、サイディング、石膏ボード		23,055.78	17,445.01	25.58		4,479.52	6,180.64	51,186.53	19.57
	泥壁		36.23						36.23	0.01
	断熱材、発泡スチロール		332.33	218.64	0.10		210.15	137.59	898.81	0.34
	木毛板		1.57	11.97			17.38	108.72	139.64	0.05
	燃え殻		7.71	32.04					39.75	0.02
	廃プラ、農業ビニール		22.03	40.98			0.96	1.29	65.26	0.02
	石綿含有廃棄物 (非飛散性アスベスト)			0.10					0.10	
	金属を含む大型ごみ						507.48	72.54	580.02	0.22
	廃石綿等							15.87	15.87	0.01
	合計		79,889.94	94,887.22	27.77		11,817.54	40,741.28	227,363.75	86.95
	廃棄物合計	34.44	81,883.86	103,457.64	3,009.25	5,006.88	19,933.74	48,168.59	261,494.40	100.00

(15) 処分実績（令和3年度）

令和3年度の埋立実績（再掲）及び廃棄物の構成比を下表に示します。

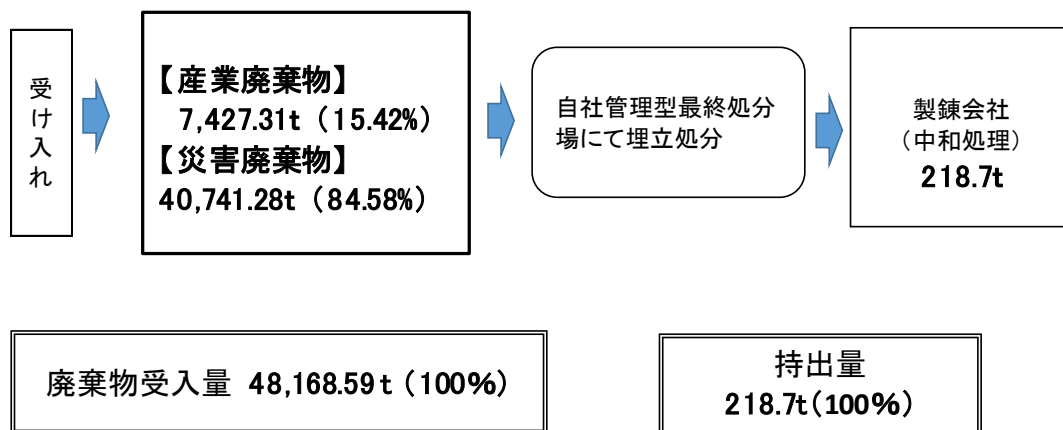
【単位：t】

種別	品目	R3(2021) 年度	産業廃棄物 (災害廃棄物) 毎の構成比	廃棄物全体の 構成比
産業 廃 棄 物	燃え殻	1,969.21	26.51%	4.09%
	汚泥(無機性)	629.66	8.48%	1.31%
	汚泥(有機性)	72.16	0.97%	0.15%
	廃プラスチック類	427.81	5.76%	0.89%
	シュレッダーダスト	511.06	6.88%	1.06%
	紙くず			
	木くず	59.62	0.80%	0.12%
	動植物性残さ	14.43	0.19%	0.03%
	ゴムくず			
	金属くず			
	ガラスくず・コンクリートくず・ 陶磁器くず	1,175.08	15.82%	2.44%
	廃石膏ボード	295.85	3.98%	0.61%
	石綿含有廃棄物 (非飛散性アスベスト)	751.60	10.12%	1.56%
	鋳さい	89.13	1.20%	0.19%
	がれき類	1,427.95	19.23%	2.96%
	ばいじん	2.97	0.04%	0.01%
	廃石綿等	0.78	0.01%	0.00%
	政令13号廃棄物			
	合計	7,427.31	100%	15.42%
災 害 廃 棄 物	ガラス陶磁器・がれき類	892.86	2.19%	1.85%
	混合廃棄物	33,331.77	81.81%	69.20%
	スレート、サイディング、石膏ボード	6,180.64	15.17%	12.83%
	泥壁			
	断熱材、発泡スチロール	137.59	0.34%	0.29%
	木毛板	108.72	0.27%	0.23%
	燃え殻			
	廃プラ、農業ビニール	1.29	0.00%	0.00%
	石綿含有廃棄物 (非飛散性アスベスト)			
	金属を含む大型ごみ	72.54	0.18%	0.15%
	廃石綿等	15.87	0.04%	0.03%
	合計	40,741.28	100.00%	84.58%
廃棄物合計		48,168.59		100.00%

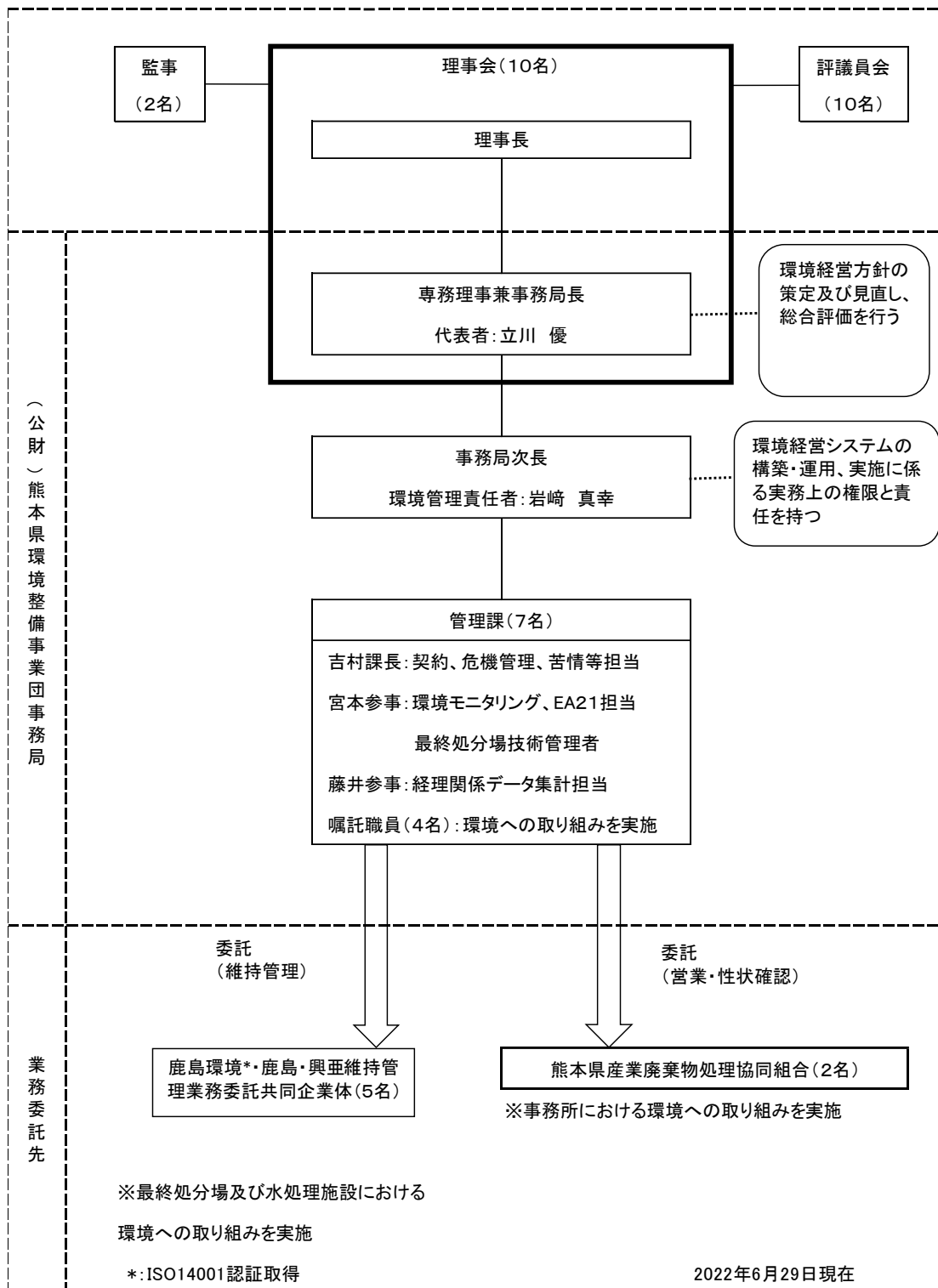
(16) マテリアルフロー

(産業・災害) 廃棄物の一連の処理の工程

【令和3年(2021年)4月~令和4年(2022年)3月】



2 エコアクション21組織図



3 環境経営方針

公益財団法人熊本県環境整備事業団は、産業廃棄物の適正な処理その他廃棄物に関する各種事業を行うことにより、本県の優れた自然環境の保全及び県民の生活環境の保全並びに産業の健全な発展に寄与します。

- 1 廃棄物の適正処分に努めます。
- 2 施設を安全に、長期間にわたり安定的に稼働させるとともに、早期安定化を図るため、適正な維持管理を実施します。
- 3 地域の環境保全に努めます。
- 4 熊本県北の環境教育の拠点として、環境学習や施設見学を通じて循環型社会の普及・啓発に努めます。
- 5 地域とのコミュニケーションを図ります。
- 6 省エネ、節水、メガソーラー発電への覆蓋施設屋根等の提供、グリーン購入を通して環境負荷低減に努めます。
- 7 環境関連法規等を遵守します。
- 8 SDG s（持続可能な開発目標）の実践に取り組みます。
- 9 この環境経営方針を関係者に周知し、継続的改善に取り組みます。

制定日：令和2年（2020年） 6月10日

改訂日：令和3年（2021年）10月28日

公益財団法人熊本県環境整備事業団

専務理事兼事務局長 立川 優

4 環境経営目標

令和元年度（2019年度）の環境負荷を基準として、令和2年度（2020年度）から令和4年度（2022年度）の環境経営目標を下表のとおり設定しました。

項目		単位	実績	目標期間		
			R1年度 (2019年度)	R2年度 (2020年度)	R3年度 (2021年度)	R4年度 (2022年度)
二酸化炭素排出量 (受入廃棄物量当たり)	電気使用量	kg-CO2/t	56.23	55.67	55.11	54.54
	削減率	%	—	-1	-2	-3
	重機燃料	kg-CO2/t	4.33	4.29	4.24	4.20
	削減率	%	—	-1	-2	-3
地下水使用量		—	地下水採取量が把握できないため、節水に努めると共に、貯水タンクの法定検査や点検、清掃を確実に実施する			
廃棄物(濃縮塩水)排出量		t	574.06	568.32	562.58	556.84
削減率		%	—	-1	-2	-3
化学物質使用量		—	対象化学物質は使用していないが、対象外の薬品等について、使用量、在庫量の把握を行い、異常のないことを確認する			

※電力使用による二酸化炭素排出量は、九州電力の2017年度の換算値

0.463kg-CO₂/kWh を用いています。

※ガス（LPG）については、目標設定時点では、使用していない（使用量が0）ため、目標及び二酸化炭素排出量の削減対象には含んでいません。

なお、令和3年度末から設備の維持管理のために僅かながら使用しています。

※表中の令和2年度について、令和2年4月1日から令和3年3月31日までの目標を掲載していますが、令和2年度は、エコアクション21の登録初年度であり、令和2年9月10日からエコアクション21の本格的な取り組みを始めています。

5 取組期間の環境経営目標の実績及び評価

【実績】

項目		単位	基準	目標設定期間				実績	
			R1年度 (2019年度)	R2年度 (2020年度)	R3年度 (2021年度)	R4年度 (2022年度)	R2年度 (2020年度)	R3年度 (2022年度)	
二酸化炭素排出量 (受入廃棄物量当たり)	電気使用量	kg-CO2/t	56.23	55.67	55.11	54.54	12.52	7.84	
	削減率 (R1年度基準)	%	—	-1	-2	-3	-77.73	-86.05	
	重機燃料	kg-CO2/t	4.33	4.29	4.24	4.20	1.71	0.95	
	削減率 (R1年度基準)	%	—	-1	-2	-3	-60.57	-77.95	
地下水使用量		—	地下水採取量が把握できないため、節水に努めると共に、貯水タンクの法定検査や点検、清掃を確実に実施する						
廃棄物(濃縮塩水)排出量		t	574.06	568.32	562.58	556.84	380.57	218.70	
削減率(R1年度基準)		%	—	-1	-2	-3	-33.71	-61.90	
化学物質使用量		—	対象化学物質は使用していないが、対象外の薬品等について、使用量、在庫量の把握を行い、異常のないことを確認する						

※令和3年度の電力使用による二酸化炭素排出量は、九州電力の2020年度の換算値 0.479 kg-CO₂/kWh を用いています。

※令和3年度の二酸化炭素排出量排出総量は 423,841.02kg-CO₂、受入廃棄物量は 48,168.59t でした。

※表中の令和2年度の実績について、令和2年4月1日から令和3年3月31日までの実績を掲載していますが、令和2年度は、エコアクション21の登録初年度であり、令和2年9月10日からエコアクション21の本格的な取組みを始めています。

対象期間：2021年4月1日～2022年3月31日

記入日：2022年6月29日

記入者：公益財団法人熊本県環境整備事業団事務局管理課 参事 宮本 俊

【評価】

- ・令和2年7月豪雨で発生した災害廃棄物を受け入れ始めたことから、令和2年度に引き続き、令和3年度は廃棄物量が増加しました。
- ・電気使用量及び重機燃料は、受入廃棄物量が増加したため、令和元年度と比較し、廃棄物1 tあたりの二酸化炭素排出量が令和2年度と同様に令和3年度は、大幅に減少しました。
- ・地下水使用については、数値目標はありませんが、節水を励行するとともに、点検がきちんと実施されていました。
- ・化学物質は、適正使用、管理がなされており、異常はありませんでした。
- ・今までは、災害廃棄物の受け入れによる廃棄物量の増加により、廃棄物1 tあたりの二酸化炭素排出量は、令和元年度と比較し、減少していましたが、令和4年度で、災害廃棄物の受け入れも終了します。災害廃棄物の受け入れ終了後も引き続き、二酸化炭素排出量が減少するように、職員の節電意識の向上や効率的な廃棄物の埋立に取り組んで参ります。

6 環境経営計画

環境経営目標(方針)	環境経営計画	
	項目	目標値、頻度等
廃棄物の適正処分と負荷削減	・適正な契約手続き	全契約
	・廃棄物情報(WDS,分析結果)の確認	全契約で実施
	・安全管理講習会の実施	すべてのドライバーの受講
	・搬入時の性状確認検査	全車両で実施
安全な施設の運営	・環境モニタリング調査の実施	法令等の規定回数、項目以上の実施と公表
	・早期安定化を目指した適正な維持管理	施設の維持管理の記録の公表
		処理水の水質(放流水基準のクリア)
地域の環境保全	・周辺民家井戸調査の実施	継続して実施
環境教育の拠点	・環境学習や施設見学を通じた循環型社会の普及・啓発	積極的な受け入れ
地域とのコミュニケーション	・安全推進委員会	年2回
	・広報誌「エコアくまもと」だより	年2回
	・休日開放イベント開催	年2回
環境負荷の低減	・二酸化炭素排出量の削減	
	エアコンの適切な使用	温度管理、必要な部分のみの稼働
	照明の適切な使用	事務室照明の昼休み消灯
	水処理施設の適正な稼働	効率的な運転に努める
	重機燃料の適正使用	効率的な運転に努める
	・水使用量	節水に努める
	・廃棄物排出量の削減	
	濃縮塩水	浸出水の水質把握及び計画的処理の実施
	事務所排出分の事業系一般廃棄物	分別の徹底
	・化学物質の適正使用	使用量の把握、日常点検の実施
	・グリーン購入	コピー用紙のグリーン購入100%
	・コピー用紙使用量	両面使用、裏紙再利用に努める
環境関連法規等の遵守	・法令等の定期的なチェック	年1回3月に確認を行う
	・書類管理	

7 取組期間の環境経営計画に対する取組結果

【取組結果】

環境経営目標(方針)	環境経営計画		令和3年度実績	特記事項
	項目	目標値、頻度等		
廃棄物の適正処分と負荷削減	・適正な契約手続き	全契約	○	
	・廃棄物情報(WDS,分析結果)の確認	全契約で実施	○	
	・安全管理講習会の実施	すべてのドライバーの受講	○	
	・搬入時の性状確認検査	全車両で実施	○	
安全な施設の運営	・環境モニタリング調査の実施	法令等の規定回数、項目以上の実施と公表	○	
	・早期安定化を目指した適正な維持管理	施設の維持管理の記録の公表	○	
		処理水の水质(放流水基準のクリア)	○	
地域の環境保全	・周辺民家井戸調査の実施	継続して実施	○	
環境教育の拠点	・環境学習や施設見学を通じた循環型社会の普及・啓発	積極的な受け入れ※1	-	R3:778人 詳細は、「11その他の活動」参照
地域とのコミュニケーション	・安全推進委員会	年2回	○	
	・広報誌「エコアくまもと」だより	年2回※2	○	3回発行
	・休日開放イベント開催	年2回※3	-	年3回開催予定であったが、うち1回は中止した。
環境負荷の低減	・二酸化炭素排出量の削減		○	
	エアコンの適切な使用	温度管理、必要な部分のみの稼働	○	
	照明の適切な使用	事務室照明の昼休み消灯	○	
	水処理施設の適正な稼働	効率的な運転に努める	○	
	重機燃料の適正使用	効率的な運転に努める	○	
	・水使用量	節水に努める	○	
	・廃棄物排出量の削減		○	
	濃縮塩水	浸出水の水质把握及び計画的処理の実施	○	
	事務所排出分の事業系一般廃棄物	分別の徹底	○	
	・化学物質の適正使用	使用量の把握、日常点検の実施	○	
	・グリーン購入	コピー用紙のグリーン購入100%	○	
環境関連法規等の遵守	・コピー用紙使用量	両面使用、裏紙再利用に努める	○	
	・法令等の定期的なチェック	年1回3月に確認を行う	○	
	・書類管理			

※1：令和3年度実績欄中「-」は、新型コロナウイルス感染症の拡大による施設見学者の減少やイベントの中止のため、令和2年度と同様に適正な評価ができないことから評価をしなかった。

※2：令和3年度は、これまで年2回の広報誌の発行であったが、イベント来場者の増加を目的に、休日開放及び自主イベントの紹介に特化した特集号を令和3年度末に初めて発行した。

※3：休日開放イベントは、令和3年4月及び令和4年3月に「桜の花見」と銘打って実施。令和3年4月に予定していた「ツツジの花見」は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、急遽中止した。

対象期間：2021年4月1日～2022年3月31日

記入日：2022年6月29日

記入者：公益財団法人熊本県環境整備事業団事務局管理課 参事 宮本 俊

【評価】

年間にわたって取り組む項目については、継続して取り組めていました。施設見学及び自主イベント等については、令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、環境学習や施設見学の積極的な受け入れ、自主イベントの開催が困難な状況でしたが、熊本県が公表する新型コロナウイルスに係るリスクレベル等を考慮し、対策を講じた上で可能な範囲で受け入れました。

8 今後の環境経営計画への取組

令和4年度は、当初の目標期間の最終年度になります。

新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら、環境基本方針に基づき、継続して取り組みます。

9 環境関連法規への違反・訴訟などの有無

環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反等はありませんでした。

また、行政機関等からの指摘・指導、利害関係者からの訴訟等もありませんでした。

対象期間：2021年4月1日～2022年3月31日

記入日：2022年6月29日

記入者：公益財団法人熊本県環境整備事業団事務局管理課 参事 宮本 俊

10 代表者による全体評価と見直し

令和3年度は、令和2年度と同様に、新型コロナウイルス感染症の感染拡大や令和2年7月豪雨に係る災害廃棄物の受け入れが、当事業団の事業活動に大きく変化を与えました。なお、本年5月に災害廃棄物の受け入れは終了しましたが、引き続き新型コロナウイルス感染症対策とともに、環境への取り組み及び適正な事業活動を行っていかねばならないと感じています。

【環境経営方針・環境経営目標・環境経営計画について】

- ①環境経営方針については、令和3年度に改訂（SDGs（持続可能な開発目標）に係る取組の追加）を行いました。
- ②環境経営目標・環境経営計画については、令和4年度が当初の目標設定期間の最終年度となり、引き続き同一の目標・計画等で継続して取り組みます。
- ③令和5年度以降の環境経営目標・環境経営計画は、令和4年度までの取組結果を踏まえ、内容の精査を行い決定します。

【今後の取り組みへの指示】

令和2年度及び令和3年度は、目標を達成しましたが、令和4年度も引き続き全員で、無理のない範囲で積極的に取り組んでいくこととします。

対象期間：2021年4月1日～2022年3月31日

記入日：2022年6月29日

記入者：公益財団法人熊本県環境整備事業団専務理事兼事務局長 立川 優

1 1 その他の活動

【環境教育の拠点としての活動】

建設工事開始から令和4年3月末までに受け入れた環境学習・施設見学（自主イベント等を含む）の実施状況は下表のとおりです。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一時、一般の施設見学等の受入れを中止しました。なお、小学校の授業の一環で実施される施設見学等については、感染防止対策を行ったうえで受け入れました。

年 度	団体数	人 数		
		施設見学	環境学習	計
平成 25 年度（2013 年度）	22	184	—	184
平成 26 年度（2014 年度）	87	1,229	—	1,229
平成 27 年度（工事中）	56	576	—	1,502
（2015 年度）（竣工後）	76	926	—	
平成 28 年度（2016 年度）	142	1,274	953	2,227
平成 29 年度（2017 年度）	111	963	574	1,537
平成 30 年度（2018 年度）	131	1,344	713	2,057
令和元年度（2019 年度）	116	1,251	531	1,782
令和 2 年度（2020 年度）	85	473	211	684
令和 3 年度（2021 年度）	56	438	340	778
計	882	8,658	3,322	11,980

○令和元年度（2019 年度）以降の環境学習、施設見学受入れの実績（主な団体等）

【地 元】地元住民グループ・団体等、地元町区長会、小中学校、安全推進委員会 等

【学 校】県内小中学校、県内幼稚園 等

【行 政】県庁関係課、県地域振興局、県内市町村・議会、県外市町村・議会 等

【業 界】県外産業資源循環協会、産廃処理業者、排出事業者、業者団体、海外企業 等

【その他】地域住民、大学、建設会社 等

【環境学習の様子】

○出前講座：エコアくまもとの概要・循環型社会



○出前講座：水生生物調査



【施設見学の様子】



対象期間：2021年4月1日～2022年3月31日

記入日：2022年6月29日

記入者：公益財団法人熊本県環境整備事業団事務局管理課 参事 宮本 俊

(2) 自主イベント

令和3年度は、以下のとおり自主イベントを実施した。

なお、一部のイベントは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

実施日	イベント名	内 容	対 象	実 績
R3. 4. 4(日)	休日開放 ～桜の花見～	桜StackSizeのソメイヨシノの開花を楽しむ	地元 5 地区の住民	9 人
R3. 4. 29 (水・祝)	休日開放 ～ツツジの花見～	ツツジの香りを楽しむ	地元 5 地区の住民	中止
R3. 7. 17(土)	ソーラーミニカーを作ろう(1回目)	低炭素社会の学習と、それを利用したものづくりイベント	小学生	5 人
R3. 8. 1(日)	ソーラーミニカーを作ろう(2回目)			中止
R3. 10. 16(土)	スジエビ釣りに挑戦(1回目)	ため池に生息するスジエビを釣る体験イベント	小学生	8 人
R3. 10. 24(日)	スジエビ釣りに挑戦(2回目)			13 人
R3. 11. 20(土)	どんぐりコロコロ見つけ隊	敷地内のどんぐりの名前を調べる体験イベント	小学生～一般	3 人
R3. 11. 28(日)	どんぐりペイント	どんぐりに好きな絵を描くものづくりイベント	小学生～一般	9 人
R3. 12. 5(日)	リ・グラスアート	循環型社会の学習と、それを利用したものづくりイベント	小学生～一般	11 人
R4. 3. 26 (土)	休日開放 ～桜の花見～	桜StackSizeのソメイヨシノの開花を楽しむ	一般	0 人

対象期間：2021年4月1日～2022年3月31日

記入日：2022年6月29日

記入者：公益財団法人熊本県環境整備事業団事務局管理課 参事 宮本 俊

○自主イベントのチラシ等

ソーラーミニカーを作ろう！！

環境社会を楽しく学ぼう

南関町にある最終処分場「エコアくまもと」では「ソーラーミニカーを作ろう！！」イベントを開催しました。皆さんのご参加をお待ちしています。（参加費無料）

日時
1回目：令和3年7月17日（土）10時～12時
2回目：令和3年7月18日（日）10時～12時

応募締切
1回目：令和3年7月8日（水）
2回目：令和3年7月15日（水）

対象と応募人数
小学生：各回10人
（応募多数の場合は抽選）

応募方法
①～⑤を明記の上、電子メール・FAXまたはハガキでご応募ください。
①希望する日、参加者の学年、住所、氏名及び保護者氏名
②メールアドレス（代表者のみで可）
③電話番号（日中に連絡がつく番号）
④参加希望及び中止の場合はその旨を電子メールでお知らせしますので、「@kka.jp」からのメールを受け取れるように設定をお願いします。
※印刷日以降であっても、新型コロナウイルス感染症リスクレベルが4になった時点で中止します。

応募先及び問い合わせ先
E-mail: info@kka.jp FAX: 0968-53-8510
〒863-0821 五名郡南関町下坂下4771-3
公益財団法人熊本県環境整備事業団「エコアくまもと」
住所：宮本、佐野、赤山
TEL: 0968-53-8500（平日9時～18時まで）

作品は、お持ち帰りできます。

「大進！アスジエビ釣りエコアくまもと」

南関町にある最終処分場「エコアくまもと」では「大進！アスジエビ釣りエコアくまもと」イベントを開催しました。皆さんのご参加をお待ちしています。（参加費無料）

日時
1回目：令和3年10月18日（土）午後10時～翌年
2回目：令和3年10月24日（日）午後10時～翌年
受付は9時30分から開始します。

応募締切
1回目：令和3年10月9日（水）
2回目：令和3年10月16日（水）

対象と応募人数
小学生：各回10人程度
（応募多数の場合は抽選）

応募方法
①～⑤を明記の上、電子メール・FAXまたはハガキでご応募ください。
①希望する日、参加者の氏名、学年及び住所、②保護者氏名、③メールアドレス（保護者のみで可）、④電話番号（日中に連絡がつく番号）
⑤参加希望及び中止の場合はその旨を電子メールでお知らせしますので、「@kka.jp」からのメールを受け取れるように設定をお願いします。

応募先及び問い合わせ先
E-mail: info@kka.jp FAX: 0968-53-8510
〒863-0821 五名郡南関町下坂下4771-3
公益財団法人熊本県環境整備事業団「エコアくまもと」
住所：宮本、佐野、赤山
TEL: 0968-53-8500（平日9時～18時まで）

新型コロナウイルス感染症に関する注意事項
・マスク着用での参加、付添いの保護者は1人まで
・受付時（案内にて）検温、健康状態の確認をお願いします。
・検温は2回（入場時、休憩時）実施し、検温結果が4（特別警戒）以上の場合は中止となります。また、検温結果が4（特別警戒）以上の場合は中止となります。

当日のイベントの様子

「どんぐりコロコロ見つけ隊」イベント開催！！

最終処分場「エコアくまもと」で、「どんぐりコロコロ見つけ隊」を開催します！！
敷地内のどんぐり拾いと名前書きを行います。
身近な自然を通して、生物多様性について学んでみませんか。

開催日：令和3年11月20日（土）10時～12時
募集人数：15人程度（小学生以上、応募多数の場合は抽選）
場所：最終処分場「エコアくまもと」（五名郡南関町下坂下4771-3）

応募締切：令和3年11月11日（木）（必着）

新型コロナウイルス感染症に関する注意事項
・マスク着用での参加、付添いの保護者は1人までとします。
・受付は敷地内に限ります。当日は検温及び健康状態の確認をお願いします。
・検温結果が4（特別警戒）以上の場合は中止となります。また、検温結果が4（特別警戒）以上の場合は中止となります。

応募方法
①～⑤を明記の上、電子メール・FAXまたはハガキでご応募ください。
①希望する日、参加者の学年、住所、氏名及び保護者氏名
②メールアドレス（代表者のみで可）
③電話番号（日中に連絡がつく番号）
④参加希望及び中止の場合はその旨を電子メールでお知らせしますので、「@kka.jp」からのメールを受け取れるように設定をお願いします。

応募先及び問い合わせ先
E-mail: info@kka.jp FAX: 0968-53-8510
〒863-0821 五名郡南関町下坂下4771-3
公益財団法人熊本県環境整備事業団「エコアくまもと」
住所：宮本、佐野、赤山
TEL: 0968-53-8500（平日9時～18時まで） FAX: 0968-53-8510

「どんぐりペイント」イベントのお知らせ

南関町にある最終処分場「エコアくまもと」では、「どんぐりペイント」イベントを行います。
身近などんぐりに絵を描いて、自然環境を保護してみませんか。
皆さんのご参加をお待ちしています。

1. 日時
令和3年11月20日（土）10時～12時

2. 場所
最終処分場「エコアくまもと」（五名郡南関町下坂下4771-3）

3. 募集対象及び人数
小学生以上15人程度
※応募多数の場合は抽選となります。

4. 内容
①どんぐりにマーカーペンを使って好きな絵を描きます。
②新型コロナウイルス感染症に関して、受付は敷地内に限りますので、チェックリストに検温及び健康状態の確認をお願いします。
③新型コロナウイルス感染症予防対策として、付添いの保護者は1人までとします。
④参加希望及び中止の場合はその旨を電子メールでお知らせしますので、「@kka.jp」からのメールを受け取れるように設定をお願いします。
⑤検温結果が4（特別警戒）以上の場合は中止となります。また、検温結果が4（特別警戒）以上の場合は中止となります。

5. 応募方法
①～⑤を明記の上、電子メール・FAXまたはハガキでご応募ください。
①希望する日、参加者の学年、住所、氏名及び保護者氏名
②メールアドレス（代表者のみで可）
③電話番号（日中に連絡がつく番号）
④参加希望及び中止の場合はその旨を電子メールでお知らせしますので、「@kka.jp」からのメールを受け取れるように設定をお願いします。
⑤検温結果が4（特別警戒）以上の場合は中止となります。また、検温結果が4（特別警戒）以上の場合は中止となります。

6. 応募先及び問い合わせ先
E-mail: info@kka.jp FAX: 0968-53-8510
〒863-0821 五名郡南関町下坂下4771-3
公益財団法人熊本県環境整備事業団「エコアくまもと」
住所：宮本、佐野、赤山
TEL: 0968-53-8500（平日9時～18時まで） FAX: 0968-53-8510

【イベントの様子】



※広報誌「エコくまもとだより」
裏面は令和4年度イベント一覧（省略）

< 実際の様子 > (抜粋)

○スジエビ釣りの様子<R3.10.24(日)>



○どんぐりコロコロ見つけ隊の様子<R3.11.20(土)>



○どんぐりペイントの様子＜R3.11.28（日）＞



(3) 熊本県SDGs登録事業者への登録について

熊本県では、SDGsに積極的に取り組む企業等を後押しし、県内におけるSDGsの取組のすそ野を広げるため、これらの企業等を登録する「熊本県SDGs登録制度」が令和3年1月に創設されました。

当事業団は、令和3年10月に申請を行い、令和4年1月26日付けで第2期熊本県SDGs登録事業者に登録されました。





熊本県公共関与産業廃棄物管理型処分場（エコアくまもと）内の桜栈敷

地元南関町の花「ツツジ」と隣接する和水町の木「桜」を植栽し、施設見学や住民開放日において憩いの場として利用しています。